

ICTを活用した授業づくり～学習効果を高める授業の工夫～

1. 指導学年 中学校 2 学年
2. 指導教科 国語（古文）
3. 単元 いにしへの心を訪ねる
4. 題材 「平家物語」
5. 学習目標（ねらい）
 - ・昔の人のものの見方や考え方に触れ、古典に親しむ
6. 評価規準
 - ・古典の文章特有の言葉遣いやリズム捉え、読み慣れようとしている。
 - ・冒頭部分の内容から、当時の無常観という考え方について感想をもっている。
7. ICT活用の目的、期待されるITC活用の学習効果
 - ① NHK10min.ボックスを視聴することで、琵琶法師の実際の映像をみて、平家物語への興味をもつことができる。
 - ② CDを聞き「平家物語」の独特のリズム、表現に慣れ、その特徴をつかんで音読ができる。
8. ICT活用コンテンツ・機器
 - ・NHK10min.ボックス（古文・漢文）「平家物語」 ・指導用CD
 - ・コンピュータ ・大型テレビ ・CDプレーヤー
9. 指導過程

	学 習 活 動	指導上の留意点（評価）
導 入	1 「平家物語」について知っていることをペアで話し合い、発表する。	1 ペアでの話し合いがスムーズにできているか確認する。
展 開	2 「平家物語」冒頭部分を読みおおよそのあらすじを理解する。 3 CDを聞き、正しい読みを確認する。 4 NHK10min.ボックスを視聴し、琵琶法師の語りを味わう。 5 冒頭部分を繰り返し音読する。 教師の範読→ペアで読む→班で読む→全体で読む 6 NHK10min.ボックスを視聴し、「平家物語」の特徴やものの見方について考える。	2 平家物語全体のあらすじや重要な登場人物「義経・敦盛」や場面「壇の浦の戦い」などを簡単に説明する。 3 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して正しく読めるか、CDを聞いてメモを取りながら確認させる。 4 簡単な解説をして視聴させる。 (平家物語に興味をもつことができる。) 5 正しく読めているか確認する。 (古典の文章特有の言葉遣いやリズム捉え、読み慣れようとしている。) 6 物語の特徴やものの見方に気付いていない生徒には助言する。 (冒頭部分の内容から、当時の無常観という考え方について感想をもっている。)
終 結	7 視聴して感じたことを発表する。	7 積極的に発言できるように意図的指名を行う。

10. 成果と課題

琵琶法師の実際の映像を視聴させたことは、平家物語への興味関心をもたせるのに効果的であった。また、平家物語が描かれた時代背景などを知ることで、無常観という考え方について感想を持つことができていることから、ICTの活用は効果的であった。しかし、NHKのコンテンツをそのまま利用すると、教科書の内容とずれる部分もあるので、どの部分をどのように活用するか検討する必要がある。